

備前市施策評価シート

(平成20年度事業)

施策名 (小項目)	ボランティア・NPO	コード	作成者	役職	企画課長
		05-01-03	氏名	里見 清美	
			電話	64-1871	

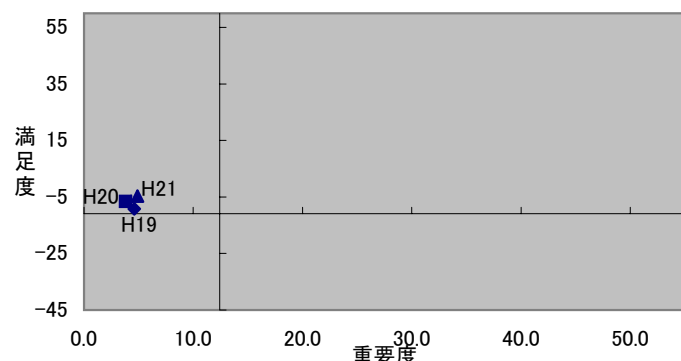
備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	住民主体の協働のまちづくり
	中項目(基本施策)	住民主体で進めるまちづくり

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	ボランティア活動・NPO活動団体等の方に、活動の拠点として「ボランティア支援センター兼サイクリングターミナル」を有効に活用していただくとともに、備前市社会福祉協議会、岡山県ボランティア・NPO活動支援センターとの連携を密にして、ボランティア活動の推進と啓発を図る。
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	市民の価値観の多様化や少子化、高齢化をはじめとする社会環境の急激な変化により、ボランティア活動への意識や関心が高まっているが、活動拠点施設としての「ボランティア支援センター」の立地条件から、近年ボランティアの方の利用が低下している。このような中で、行政の対応の充実が求められていることから、今後は備前市社会福祉協議会、岡山県ボランティア・NPO活動支援センターとの連携を図り、いつでも、誰でもボランティア活動に取り組めるよう、活動の情報提供や相談窓口など、環境整備を図っていく必要がある。また、行政とNPOとの協働について、お互いの特性を認識、尊重しあいながら、活動を協働で進めてい必要がある。
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動の環境整備 ボランティア活動の支援・促進 行政とNPOの協働の推進 人材バンクの創設

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	4.6	3.8	4.9	
満足度(%)	-9.2	-6.6	-4.7	



高 ↑ 満足度 ↓ 低	<p><見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p>	<p><維持領域> 現状の方向を継続</p>
平均	<p><検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要</p>	<p><強化領域> 内容を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>
	低 ← 重要度 → 高	

調査結果に対するコメント、市民の反応等	満足度も重要度も低く、市民の関心は低い。また、市民意識調査の中でも、ボランティア・NPOに関する意見も非常に少ない。今後はあらゆる分野で活発化させることが必要である。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標・計算式・ベンチマークの説明	目標値	
		H18	H19	H20		H21	H28
この1年で何らかのボランティア活動を行ったことのある市民の割合	目標	%	37.0	37.0	37.0	H21	37.0
	実績	%	36.3	34.9	36.4	H23	45.0
	達成率	%	98.1	94.3	98.4	H28	50.0
	ベンチマーク					-	-
NPOの数	目標	法人	8	8	8	H21	12
	実績	法人	6	6	11	H23	12
	達成率	%	75.0	75.0	75.0	H28	12
	ベンチマーク					-	-
ボランティア支援センターの利用者数	目標	人	6,000	6,000	6,000	H21	6,000
	実績	人	6,271	6,837	7,230	H23	6,300
	達成率	%	104.5	114.0	120.5	H28	6,500
	ベンチマーク					-	-
参考指標③	目標					H21	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									この施策に費やした資源(単位:千円,人)				
				平成18年度			平成19年度			平成20年度							
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数					
1	ボランティア支援センター等管理運営事業	C	ボランティア支援センター管理運営事業	内部管理	4,762	1,330	0.15	4,766	318	0.04	2,764	603	0.07	☆☆☆☆☆	計画的 計画事業 その他	平成21年度 5月補正後 予算額 ※一財ベース	
2	ボランティア活動支援事業	D	サイクリングターミナル管理運営事業	内部管理	0	475	0.06	0	279	0.03	8	58	0.01	☆☆	その他	7	
3	ボランティア・NPO育成事業		ボランティア・NPO育成事業	単市	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	☆☆	その他	0	
					平成18年度	平成19年度	平成20年度										
					4,762	1,805	0.20	4,766	597	0.07	2,772	661	0.08				1,610

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
市社協、県社協、県ボランティア・NPO活動支援センター	ボランティア活動事業等	関係機関と連携することで、ボランティア活動等を活発化させ、住民主体の協働のまちづくりを推進することができる。

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 役割分担の妥当性 (市の関与、協働の可能性)	2	ボランティア支援センターの管理運営は適正に行われているが、立地条件が良くないため、利用が低下しているため、関係機関と連携して利用を活発化させる必要がある。	2	ボランティア支援センターの管理だけの事業になっている。
2 事業構成の妥当性 (実施手段)	2	各種講座の開催及びボランティアリーダーの育成をする必要がある。	2	各種講座の開催及びボランティアリーダーの育成をする必要がある。
3 施策の有効性 (指標分析、評価年度・中長期の達成度)	2	施設の管理しか行っていないため、ソフト事業の充実を図る必要がある。	2	人材育成が大切だと考える。
担当への指示 (今後の展開、事業見直し、新規事業創出等)	市社協、県社協、県ボランティア・NPO活動支援センター等関係機関との連携により、各種講座等ソフト事業の充実を図り、協働のまちづくりが推進できるようにする必要がある。		成果指標でボランティアに参加した人の数が伸び悩んでいます。その一方でNPO法人の数は順調に増えています。特定の人が熱心に活動しているという傾向があるので、裾野を広げる施策を考えてください。	
二次評価者コメント	ボランティアは、自主的な活動するものですが、きっかけは必要です。活動する人を増やす取組みが必要と考えます。		基本施策への貢献度	翌年度予算の方向性
役職 総務部長 氏名 馬場 鉄二			2やや低い	平均的な配分